



「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

あけましておめでとうございます

TOP*NEWS

吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト 銀賞受賞



吹奏楽部 全日本マーチングコンテストでの様子

新年を迎えて ~さらなる改革を目指して~



校長

片桐 知己治

新年あけましておめでとうございます。
2017年、新しい年の始まりです。

この1年を振り返ってみると、まずは、
昨年度より23名多い高校3年生の87%、
398名が東海大学に合格し、希望の専
門分野に進学することが決まりました。
また、これらの生徒の内、61名が特別奨
励となりました。

男子のスタート時に小雨が降ったもの
の98パーセントが完歩した剛健旅行を含め、中等部・高校の体
育祭、建学祭、スポーツ大会など多くの各行事が大成りに終わ
り、たくさんの思い出が創れました。

2016年度も高輪台の部活動は頑張りました。サッカー部が
7年ぶりに東京都代表としてインターハイに出場。また、1年2
組中込正樹君が第71回国民体育大会の東京都代表として
選ばれ、全試合に出場しました。チームは、1回戦熊本、2回戦
北海道、3回戦福岡と順調に勝ち進みましたが、準決勝で広
島、3位決定戦で神奈川に敗れ、国体全国4位となりました。ま
た、準決勝で東京を破った広島は、決勝戦で大阪を破り優勝
しています。高校吹奏楽部が昨年に引き続き、名古屋国際会
議場で行われた全国大会に出場して銀賞を受賞。昨年は出
場できなかったマーチング全国大会でも銀賞を受賞。管楽合
奏コンテスト全国大会で最優秀賞を受賞するなど、素晴らしい
成績を収めました。ダンス部は「ダンスドリル選手権全国大会」

「USA School&College Competitions 2016全国大会」に連続出場。それぞれ、[HIPHOP男女混合部門ラージ編成]第2位、[高校編成 HIPHOP部門]第3位を獲得しました。さらに、今年、DANCE STADIUM関東・甲信越大会にも出場・入賞し、全国大会に出場しました。軽音楽部は夏休み広島で行われた「第40回全国高等学校総合文化祭軽音楽部門」に東京都代表として出場。柔道部は男女とも関東大会に連続出場。

この他、いろいろな部活動の試合応援に行かせていただきましたが、どこの会場でも熱心な保護者や家族の皆さんの応援、そして、駆けつけたOBの応援が選手たちを励ましてくれていました。

SSH活動も活発で、特に国際交流が進み、6月にアメリカからベリングハム・ハイスクールが、7月にはタイのプリンセス・チュラポーン・ハイスクールが来校し本校の授業に参加したり、文化交流、研究発表を行いました。7月20日には昨年度に引き続

きさくらサイエンスプランが実施され、中国の高校生60名、バプアニューギニア、東ティモールなど島嶼諸国から54名の高校生を迎えて、ノーベル化学賞を受賞された野依良治博士の特別授業を受けたり文化交流をしました。さらに10月にはタイのパヤオ大学付属高校を本校SSH成果報告会に迎えて、合同研究発表会を行いました。

さらに学習面では、昨年7月に本校創立70周年記念事業として後援会から寄贈された650台のタブレットPC Surface Pro3を活用した授業や、アクティブラーニングを取り入れた授業など、授業改革を推進しています。

こうしたいろいろな活動が評価され、今年も中等部・高校の学校説明見学会には、たくさんの受験生が来校してくれています。間もなく中高の入試シーズンを迎えますが、東海大学の建学の精神に共鳴した新入生を4月にはお迎えしたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

第29回全日本マーチングコンテスト全国大会

吹奏楽部 顧問 島田 貴生

昨年の雪辱を晴らし、マーチングコンテスト全国大会へ出場することができました。3年生を中心に最強メンバーでチームを構成し、東京都大会では2位に大きな差をつけて見事に代表！大阪城ホールへの練習が始まりました。部員たちは厳しい練習に耐え抜き、大阪城での本番を迎えました。演奏開始直後から見事なサウンドが鳴り響き、高輪台の十八番である日本舞踊をコラボレーションした見事なショーが繰り広げられました。結果は残念ながら望んでいた賞ではありませんでしたが、誇るべき銀賞を受賞することができました。応援してくださった皆様のおかげです！特にアリーナを快く貸してくださった運動部の皆さん、本当にありがとうございました！そして、物心ともに部員を支えてくださった保護者の皆様、感謝してもきれません。今後も、素晴らしい演奏をお聞かせできるように頑張ります。

マーチングコンテスト全国大会を終えて

吹奏楽部 3年9組 正田 朱乃

先日11月20日、大阪城ホールにて全国大会を終えました。結果は銀賞という残念な結果でしたが、私たちは悔いなく演奏演技をすることができ、後悔は全くありません。1万人360度のお客様に見守られ、6分間できることを全て出し尽くしました。練習では先輩・後輩関係なく、良い演奏演技を目指すなら声を掛け合おうと、1人ひとりが6分間のショーにどれだけ協力できるかが課題でした。後輩には二度と悲しい思いをしてほしくありません。来年は絶対に金賞を東京に持って帰ってきてください。



全日本マーチングコンテストでの様子



誇るべき銀賞受賞！

2016年度学校運営方針

2016年度の学校運営方針重点目標達成に向けての本校の取り組みを紹介します。

本校の取り組み PART.3

「現代文明論」「高校現代文明論」を推進する

「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」を育成する

実験を重視した理科授業を推進する

「書き方指導」の具体的対応と対策に取り組む

付属高校生のための海外研修
「SHIP」「付属高校生のためのヨーロッパ研修」「カナダ中期留学」の奨励

「東海大学学園オリンピック」「中高生の理科体験授業」「東海大学高等学校生徒会会長会議」
「学園オリンピック参加関係者のための学部学科説明会」の奨励

建学記念絵画・作文・小論文の応募への積極的な働きかけ

キャリア教育を推進する(キャリア教育推進モデル校:付属高輪台高等学校、付属相模高等学校)

校長面接、TOEFL® 講座等を実施し、航空操縦学専攻、医学部、看護系への
進学者をサポートする

e-Learning、個別指導課題を用いた入学前学習と事前指導の充実と拡大利用

東海大学は1946年に旧制大学令による大学(旧制)として認可され、その後1950年には新制の大学となりました。創立当初から「文理融合」を教育理念として掲げ、現在は東海大学に18の学部を擁する他、3つの短期大学と、海外の教育機関(HTIC…ハワイ東海インターナショナルカレッジ)を持つ、総合大学となっています。

また、幼稚園から大学院まで、充実した独自の一貫教育を実施し、全国には14校の付属高等学校と7校の中等部(提携校含む)があります。

今回あげた取り組みは、一貫教育の縦のつながりや、付属校の横のつながりが存分に活かされたものです。理科教育を例にすると、付属校では、実験・実習を体系化して授業のための各種データを共有する試みを進めています。また、「中高生の理科体験授業」を通じて中高大が連携して中高生を指導する取り組みも行っています。

本校をはじめとする付属校では、生徒も教員も自校の中だけでなく、学園全体の大きな広がりの中で互いに学び合い、切磋琢磨しています。

生徒会新役員決まる

生徒会役員選挙で次年度の役員が決定しました。今年はすべて信任投票でした。新役員の多くは新規の役員ですので、高輪台高校・中等部の活動がさらに良くなるよう力を注いでくれると期待しています。生徒の皆さんも新役員のもと、生徒会活動が活発になるように協力をしていきましょう。

中等部生徒会新役員

会長 2年 A組 清水 凜

副会長 2年 A組 山本 拓海

副会長 1年 A組 鈴木 尚輝

会計 1年 B組 大谷 蓮

書記 1年 A組 一宮 万里河

高校生徒会新役員

会長 2年 8組 鶴岡 亮久

副会長 2年 10組 渡邊 花菜

副会長 1年 10組 阿部 翔

会計 1年 4組 中村 結衣

会計 1年 5組 渡邊 理恵

書記 2年 10組 中村 海裕

書記 1年 4組 加藤 優帆



後列左から 大谷君、一宮さん
前列左から 山本君、清水さん、鈴木君



後列左から 渡邊さん、中村結衣さん、加藤さん、中村海裕さん
前列左から 阿部君、鶴岡君、渡邊さん

中等部生徒会会長

2年A組 清水 凜

今年度、中等部生徒会会長になりました2年A組の清水凜です。私は昨年度1年間会計として生徒会活動を行ってきました。その中で多くのことを経験することができました。合唱祭やスポーツ大会では司会進行を行いました。生徒総会では、全校生徒の前で発表し、一番の経験となりました。昨年度、経験したことを生かして、今年度多くのことに挑戦していきたいと思っています。また、生徒会長として責任感を持って行動していきたいです。生徒会全員で、この学校を楽しく、元気のある学校にしていきたいです。これから一生懸命頑張りますので、ご協力お願いします。

高校生徒会会長

2年8組 鶴岡 亮久

このたび、高校生徒会会長に就任しました2年8組鶴岡亮久です。私は前生徒会役員では書記でした。前回の生徒会で先生方や先輩方からさまざまなご指導をいただき、多くのことを学ぶことができました。新生徒会では、その学んだことを最大限に生かしていきたいです。TAKAFESをはじめ、前々回の生徒会から開催している建学祭前夜祭を、生徒会役員、建学祭実行委員の方々と連携して、これまで以上に盛り上げていけるように頑張りたいです。私は生徒会会長の名に恥じぬよう日々努力し、生徒会役員をまとめ、生徒の皆さんが過ごしやすい学校にしていけるよう頑張りますので、よろしくをお願いします。



生徒会旧役員皆さん、お疲れさまでした

中等部合唱祭

今年も中等部合唱祭が行われました。どのクラスもこの日に向けてさまざまな困難を乗り越えてきました。本番当日、普段は見せない生徒たちの真剣なまなざしと、想像以上の素晴らしい歌声に感動させられました。美しいハーモニーを届けた3年生、来年がさらに楽しみな2年生、元気いっぱいの1年生、どのクラスにも大きな拍手を送りたいです。本当にお疲れさまでした。

指揮者賞

3年B組 橋本 恭祐

自分は合唱祭で3年間指揮者を務め、思いがけなくも指揮者賞をいただきました。練習通りに振ることができなかったため、名前を呼ばれた時は驚きました。でも賞状を手にし、振り返って賞状を掲げた時、みんなが喜んでる姿を見て、実感が湧きました。その時、自分一人だとれた賞ではないとそんな当たり前のこと気づき、心の底から感謝の気持ちと、このクラスでよかったという喜びでいっぱいになりました。

伴奏者賞

3年B組 三須 恵美香

私は3年間伴奏者を務めました。毎年練習はするのですが、今年は最後なので去年よりも必死に練習をしました。ピアノのレッスンの時間を合唱祭の曲に変えたり、家に帰ってからずっと練習をしていたので、軽い腱鞘炎になりながらも練習を続けました。難しい曲なのでミスタッチなく弾くのがなかなかできなくて、でもやっぱりピアノは面白いと改めて思いました。今後必死にピアノを弾くことがないと思うので、良い思い出になりました。

金賞

3年A組

「あなたへー旅立ちに寄せるメッセージ」

今回は、練習の時歌う側ではなく、教える側に初めてつきました。最初、何をやれば良いかわかりませんでした。やっていくにつれてどんどん上達していくことがうれしくなり、積極的に取り組むようになりました。クラス38人でとった金賞は今までにないくらいうれしかったです。そして、とても良い思い出になりました。(萩原 葉月)

銀賞

3年B組 「春に」

銅賞

2年B組 「明日の空へ」



学年だより 中1

☆初めての合唱祭☆

1年生にとって初めての合唱祭が行われました。みんなで練習していく中で、クラスで心を一つにする事の大切さを改めて感じたり、先輩方の歌声の素晴らしさに驚いたり、さまざまな想いを抱いたようです。

1年A組 ♪ HEIWAの鐘 ♪

合唱祭の思い出

A組 片倉 隆義

僕は歌がとても下手なので、あまり合唱祭のやる気が出ませんでした。しかも合唱祭で歌う曲は難しそうな曲で、合唱祭に対して余計にマイナスな考えになってしまい、熱心に練習することができませんでした。しかし、僕の友達みんな指揮者をやったり、歌を頑張ったりしていたので、置いてきぼりにされる気がして、本気で取り組まなければという気持ちで少し出てきました。そう思い始めた時、パートごとでリーダーを決めることになりました。リーダーになり、上手な人を参考にして頑張れば少し上手になれるかもしれないと思い、リーダーに立候補しました。そして少しふざけてしまうこともあったけれど、責任感も出て、本気で歌うようになれました。隣で歌っていた友達は歌が上手だったので助けられました。本番では賞は取れなかったけれど、クラスで団結できたり、良い合唱ができたのでよかったです。



指揮：上條君、伴奏：井上さん

1年B組 ♪ With You Smile ♪

最高の行事

B組 川島 華真瑠

私たち1年生にとっては初めての合唱祭だったので、わからないことだらけでしたが、本番に向けて頑張って練習に励みました。

私たちB組が歌った曲はとても歌詞が良くて、テンポは少しゆっくりめな曲です。私はテノールという一番低いパートだったので、大きな声を出しているつもりでも、聞こえづらいということに途中で気が付きました。私はパート決めの時、アルトとテノールのちょうど間くらいの声で、「こっちの方が歌いやすい」というものではありませんでした。しかし、テノールに決まったので、家でも練習しました。すると少しずつですが、だんだん出にくかった声も出るようになっていきました。そして、いよいよ合唱祭当日。とても緊張しながら歌いましたが、練習した甲斐があって、精いっぱい声を出し切ることができました。

今回、初めての合唱祭で、クラスが団結できる最高の行事だと思いました。



指揮：日比野君、伴奏：菊山君

学年だより 中2

合唱祭がありました

11月17日(木)に合唱祭がありました。今年度の合唱祭は私の教員人生を振り返って最も印象深いものでした。また、歯がゆさと悔しさと喜びとさまざまな気持ちが入り交じったものとなりました。まずはB組が銅賞に入賞できたことはとても嬉しいことだと思います。本当によく頑張りましたね。一方A組は11月の2週目に入ったころ、1人、2人と徐々にインフルエンザに罹患する生徒が増えてきました。予感的中し、約10人の生徒たちがインフルエンザにかかりました。私としては全員で一生涯懸命練習してきただけに、「全員で歌う」ことに意味があるものと思っていましたが、残念ながら合唱祭の日程に間に合わず、10人が欠席の状態の本番を迎えることになりました。少ない人数で参加することになったA組の生徒たちの気持ちや精神状態、休んでいるみんなのことを考えながら合唱を聴いていると熱いものがこみあげてきました。

さまざまな点で来年度へ向けての課題が見えてきましたね。来年度すばらしかった3年生に、少しでも近づけるよう頑張っていこう!

思い出になった合唱祭

A組 島袋 樹梨南

銅賞もとれなかった、先日行われた合唱祭。もともと私たちのクラスは人数が少ないです。それにもかかわらず、当日の休みは10人もいました。だからステージに立ったのは23人。練習の時も人数が少なく声が小さく、みんなばらばらでした。ハモるべきところもハモらず、みんな「人数が少ないから」と理由をつけてやる気を失っていました。自分のパートと違うパートを歌ったり、ふらふらしたり、横を向いていたりと、それぞれが自分勝手な行動をとっており、合唱といえるものではありませんでした。

しかし、本番が近づくとつれ、緊張感の影響が少しずつまとまっていきました。本番前日、今までの練習と比べられないくらい声が出ていて、やればできると思いました。そして本番、みんな全力で歌っていました。その声アリーナに響き渡っていました。何も賞は取れませんでした、いい思い出になったと思います。

皆で獲った銅賞

B組 望月 ノア

今回の合唱祭でも昨年度と同様に僕は伴奏を担当しました。夏休みは部活動で忙しくピアノの練習が全くできない状態でした。練習までに間に合うか心配でした。それでも暇があればひたすら弾きました。そのせいか合唱の練習に間に合わせることができました。一方、合唱の方は音楽の授業ですでに進んでいて、男子と女子が合わせられるところまでできていました。毎日パートごとに分かれて30分ぐらい練習していました。その成果もあり、日に日に歌の精度が上がっていきました。いよいよ合唱祭当日。これまでみんなで頑張ってきたことすべて発揮しました。そのおかげで銅賞を獲得することができました。来年は絶対に金賞を皆で獲り、伴奏者賞もとりたいです。3年生では今のクラスメートではないですが、そこでもみんな協力していきたいです。



2 A



2 B



学年だより 中3

合唱祭を終えて

中等部最高学年としての、これまでの練習の成果が見られた合唱祭が幕を閉じました。最後の合唱祭で生徒たちは何を待たの
でしょうか。

A組 石井 麻優

クラスがバラバラで焦りましたが、逃げずに3Aの皆と話し合い、2日前にはこれがまとまりだとわかるほどでした。ぶつかり、話し合い、絆を深めてきた3Aだからこそ金賞だと思います。このクラスで伴奏ができて幸せでした。

B組 中村 水音

合唱祭が終わり、教室に戻ってきた時、皆はやり切ったという顔をしていました。後悔はありませんでした。3年B組で歌い切れて本当によかったです!!

A組 伊藤 みなみ

合唱祭係を担当した私に、クラスの何人かが直接言葉やメールで感謝の言葉をくれました。諦めずにやること、優しさに気付くことができました。言葉で気持ちは変わるので、1つ1つの言葉を大切にしようと思いました。

B組 高倉 翔太

ラストの合唱祭を終えて、このクラスでよかったと改めて思いました。B組で歌った「春に」は他のクラスの歌とは違い、一番、二番がない難しい曲でした。最初はバラバラでしたが、まとめることができました。

A組 鈴木 ひなの

練習をするうちに上達を感じ、目指す場所が鮮明に見えてきました。私にできることなんて小さすぎると思っていました。自分が動くだけで世界の見え方が変わることがわかりました。

B組 神田 璃沙

今年の合唱祭は3年A組に負けてしまいました。しかし、音楽知識のあるなしに関係なく、皆さんにいい歌を届けることができたのではないかと思います。みんなで頑張ったことが素晴らしい思い出です。

A組 小川 真悟

僕は最初の頃の練習にまじめに取り組めなくて、そのことで係りの人が怒り、話し合いをしました。その後納得して歌えたので、最高の合唱になりました。言いたいことを冷静に考え、思っていることが正しいか判断する必要があると学びました。

B組 堀田 耀平

最後の合唱祭は銀賞でした。金賞を取りたかったので、悔しいです。でもいい思い出になりました。最後の合唱祭、頑張ってやりきってよかったです。

A組 原 光希

どうすれば金賞がとれるか考え、練習メニューを決めました。指揮者としてまとめる方法も考えました。今後も縁があったら3Aで合唱し、指揮を振りたいです。かけがえない思い出をありがとうございました。

B組 持齋 心

今回の合唱祭では、自分は音楽の知識はまったくないけれど、みんなのために少しでも役に立ちたかったので、合唱祭の係りになりました。自分ではちょっとは役に立ったかなと思います。結果には恵まれなかったけれど、良い思い出になりました。



A組本番



B組本番



心を込めた指揮



楽しく練習



頑張った証

学年だより 高1

高校現代文明論口頭発表会(普通クラス)

普通クラスでは、高校現代文明論の授業で調査・研究した「現代文明の諸問題」に関する口頭発表会を12月10日にアリーナで行いました。最優秀賞を獲得した9組はもちろん、どのクラスの代表者たちも堂々とした態度で学習の成果を存分に披露することができました。

9組 太田 一輝

高校に入り始まった高校現代文明論において、初めての発表ということもあり、班員とどのような発表にするかなど真剣に考えました。その結果、劇でわかりやすく簡潔にまとめるという結論に至りました。その劇で楽しくなおかつ皆にわかりやすく伝えるにはどうすればいいかを悩み、台本を何回も書き直し、少しでもいいものになるように試行錯誤を繰り返しました。
本番、大勢の前で発表するにあたってとても緊張したものの、一生懸命発表ができ、賞を取るという最高の結果を手に入れることができました。班員と一つのことについて調べ発表するという、とても貴重な経験ができました。



1組 谷森 茉依

私は発表会の司会を務めました。大勢の前で話すのはとても緊張しましたが、席からは私と同じように、緊張しながらも一生懸命に発表している代表者の皆さんの姿を、近くで見ることができました。
発表は内容や雰囲気もクラスによって異なり、それぞれのテーマに沿って、発表を聞いた私たちがこれからどうしていくべきかを学ぶ、良い機会になったと思います。今回の発表会で、私たちと同じ目線からの考えをもとに、身近なことから世界全体が抱える問題の解決につなげていく意識を持って発表することの大切さを知ることができました。



発表テーマ

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 8組 「人権の問題と解決策」(人権) | 鈴木千香子、中村沙紀、安田大翔、山田翔大 |
| 2組 「世界遺産の諸問題」(国際) | 菅場隆生 |
| 7組 「地球温暖化の現状について考える」(環境) | 江波戸優真、奥村明日香、渋谷琉夏、石橋耕輝、丸山百葉 |
| 5組 「人種差別」(人権) | 市原由衣、岡田理紗、石田勝也、木戸遥大、永松文翔 |
| 3組 「公的年金制度について」(福祉) | 岸本結衣、坂口由依、平野蒼 |
| 6組 「アスリートのドーピングに対する世界的影響」(スポーツ) | 小泉龍平、楠莉々香、長山恭子、阿部泰世、長島陸、横溝凱 |
| 9組 「大気汚染」(環境) | 鈴木あいか、森下都雲、太田一輝、小林竜輝、照井敦貴 |
| 4組 「テロについて考える」(国際) | 田澤誠和、京増有紀、寺崎涼香、相原悠人、高橋幸輝 |
| 1組 「バリアフリーからユニバーサルデザインへ」(福祉) | 荒井萌、松永夏季、池田遊、大原晴ノ介 |

サイエンス基礎「国語表現演習」(SSHクラス)

SSHクラスのみが履修する学校設定科目「サイエンス基礎」は、研究施設の見学やフィールドワーク、英語によるプレゼンテーションなどについて専門家から総合的に学ぶ講座です。読売新聞東京本社の記者・待田晋哉先生によるワークショップでは、良い文章の書き方について学んだ上で「宝物」という題の作文を書きました。



「宝物」
秋田陸

僕は中学から今までの四年間、陸上競技を続けてきました。だから僕の「宝物」は、陸上競技用のスパイクとシューズです。
理由としては大きく分けて二つあり、一つ目は自分の足の形状や反発性が合っているシューズを、時間をかけて見つけ、買った時のうれしさは格別なものがあるということ。また、その新しいシューズでトラックを走っている時はとても幸せで、このシューズを歩いて練習を頑張ろうと思わせてくれます。
二つ目はさまざまなスパイクやシューズを見てみると、とても楽しくなるということです。例えばナイキは同じパフォーマンスのシューズをたくさん売っているのに三ヶ月に一回ほどのペースで色を変えているので、たくさんカラーリングがあり、とても興味をひかれます。また、色を変えて出すまでに時間があり、その間に他のメーカーが新しいモデルを出すので飽きません。
これらのことから僕の「宝物」は、スパイクとシューズです。



朝読書、何を読んでいますか?【第8回】 加藤 優帆 さん(生徒会役員会書記)

生徒会書記になりました加藤です。よろしくお祈りします。

★瀬尾まいこ『幸福な食卓』(講談社文庫)



クリスマスツリーの飾り付け(右は会計の中村さん)

この物語は、朝食時の「父さんは今日で父さんを辞めようと思う」というお父さんの言葉から始まる。主人公の家族はお父さん、兄の直ちゃんと妹の佐和子で住んでいて、お母さんは別居している。朝食は必ず一緒にとることが約束で、話があるときはいつもその時なのである。お父さんが自殺しようとしてしまった過去、それによって家出をしたお母さん。兄の変った恋愛、そして妹の悲しすぎる恋愛。この小説を読むと、家族とは自分にとって一体何なのか、家族とはどういう存在なのかを考えさせられます。

(次号は、5組のコミュニケーション英語1などを担当の教頭・松山先生のお勧め図書を紹介し)

学年だより 高2

2学年の建学祭はこれ! ②

前回に引き続き、各クラスの代表が建学祭の活動を振り返りました。

7組 海底2万メロ

矢島 信一郎

クラス一丸となって工夫を重ねた結果、考えていたよりもずっと良い迷路を作ることができ、知財準グランプリをいただき、うれしかったです。



8組 INTORO BOOOON

鈴木 里奈

私たち8組はイントロゲームをしました。8組とハチをかけて、ハチをメインとした内装にこだわりました。



9組 俺たちのジャンボジエンガ

横山 龍

9組ではジャンボジエンガをやりました。準備期間や当日もみんなで一致団結することができ、たくさんのお客さんの笑顔も見られてとても良い思い出になりました。



10組 もち揚げちゃいました!

大月 啓史

私たちのクラスは揚げ餅を販売しました。最初は皆まとまりがなく、準備も全然進みませんでしたが、最後は団結して準備して、多くのお客様にきていただくことができました。今回の建学祭でクラスの団結がより深まってよかったです。



級長会 わんだふる研修旅行

渡辺 嵩耀

私たちは、ポスターや動画で研修旅行の楽しかった思い出を伝えました。来年行く1年生や、その保護者にも喜ばれました。



第15回日本語ディベート大会出場者

肯定側

山本 海斗
門脇 康平
西ヶ谷啓木
天野 悠己
坂元 俊太

否定側

兵藤 海来
上谷 太一
村木 龍
木村 天音
池田 遥輝



学年だより 高3

最後の建学祭 ①

前日までの初冬を思わせる天候とは打って変わって、建学祭が10月15日(土)と16日(日)の両日、素晴らしい秋晴れの下、実施されました。

高校3年生にとっては最後の建学祭。今年度は全クラスが前庭で模擬店を出しました。そこで、今回は、各クラスの出展団体責任者に建学祭を振り返ってもらいます。

1組

赤坂 真優

最後の建学祭はとても良いものになりました。なぜならクラスの皆が楽しみながら協力して取り組めたからです。準備は手早く手分けをして、他のクラスよりも朝早く集合して麺づくりをしたのが印象深く残っています。シフト外の人でも手伝いに来てくれたり、声を掛け合って作業をしているのを見て、うれしく思い、頑張ってたよかったです。



2組

松田 花穂

私のクラスはたこ焼きを販売しました。皆が部活動で忙しく、空いている人が限られていたので、準備がとても大変でした。しかし、それぞれが自分の役割を果たし、協力し合ったことで、クラスの団結力がより高まったと思います。クラスで過ごす時間もあとわずかなので、残りの学校生活もみんなで楽しく過ごしたいです。

3組

浅倉 彩夏

私は、建学祭実行委員会の宣伝・設営部門のメンバーとして、3年間、夏休み前から活動を始め、2週間前からは夜8時半まで学校で門やパンフレットの作成をして、さらに当日はお客様用のスリッパ出しを行ってきました。毎日大変で、クラスにも参加できず、やめたいと思ったことが何度もありましたが、振り返ってみると、得るものの方が多くて達成感でいっぱいでした。



4組

能美 征大

私は建学祭のクラス委員で、最初は「クラスがまとまらなかったらどうしよう」など不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、いざ当日を迎えると、皆がシフトを守って協力してくれました。皆の協力なしでは、こんなに楽しい建学祭にはなりません。みんなには心から感謝をしたいと思います。みんなありがとう。

5組

岡田 秀太

今回の建学祭では、クラスの責任者になったり、前庭で模擬店を出店したり、と初めてのことが多かったです。模擬店では肉うどんという難しいメニューを提供しました。しかし、クラスの皆が試行錯誤を繰り返して頑張った甲斐があり、完売することができました。自分たちが主体となって行う高校の文化祭は最後になりましたが、とても楽しむことができました。



SSH活動報告

3年SSHクラスは、「課題研究」という授業を行ってきました。自分たちで決めたテーマで実験・研究し、その成果を論文という形にまとめました。また、パワーポイントやポスターを用いて外部でたくさん発表をしました。今年度は、全員が英語で発表し、SSH活動でしかできないことをたくさん経験してきました。この授業を通して全員の成長した姿を見ることができました。

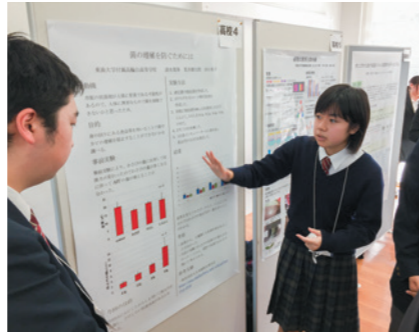
課題研究を終えて

3年10組 中山 幾斗

私は、ゴキブリの生態について、毒となる物質や、誘引物質など、ゴキブリの駆除に有効的なものを探る研究をしました。はじめのうちは、飼育や測定をするときに少し抵抗があり、また、慣れないことが多く、実験がうまくいかないこともありましたが、数を重ねるごとに自分たちでコツをつかむことができ、ゴキブリに対する抵抗感も薄れ、実験もスムーズに行えるようになり、結果も出るようになりました。

外部で発表をするときは、研究のテーマがゴキブリということもあり、気持ち悪がられ、聞いてくれる人もいないのではないかと心配でした。しかし、自分が想像していたよりも多くの人に聞いてもらえ、多くの人に興味を持ってもらい、多くの質問をしてもらえたことはとてもうれしかったです。

このような自分たちでテーマを決め、自由に研究できたことは、私にとってとても貴重で良い経験になりました。将来、このSSHクラスでの経験は、必ず私たちのためになると思います。



土壌肥料学会の発表会(宇都宮)



プラズマ核融合学会の発表会(福岡)

研究の難しさと楽しさ

3年10組 山本 陽太郎

私は、災害時に活躍する探索ロボットをC言語で制御し、コース全体を効率良く、目標時間内にすべての目標物を探索できるかを研究しました。最初はプログラミングがままならず、意図した動きにならなかったのですが、どの文がどのような命令を出しているか、また、プログラム上の数字が一体何を意味しているかを一つ一つ理解していくうちに、思い通りの動きをするようになりました。外部発表では、内容的に子どもが興味を持ってくれそうだなと思いましたが、意外にも大人の方が興味を示してくれたことに驚きました。ロボットやプログラムに詳しい方からさまざまなアドバイスをいただき、今後の参考になりました。また、発表の最中でロボットを動かすデモンストレーションをすると、子どもたちが集まってきてくれて、興味を持ってくれたんだと感じました。研究や発表会など普通クラスではできない体験ができてよかったと感じています。

2016年度 3年課題研究 研究内容一覧

- 物理**
 - ガイガーカウンター 飯野慶人、勝又飛翔、平松尚也
 - 紙で強い橋をつくる 植木誠晴、村林直樹
 - 電気炉の交代によるY系超伝導体の作製条件の調査 生魚雄大、小林俊、西垣祐汰
 - 翼の形状による揚力・抗力の違い 山本弥香
 - 機体の形状と気流 加藤慶一
 - テーパ比の変化による揚力抗力係数の関係 長尾和紀
 - ミニ四駆とそれにかかる抵抗について 十合玲、中村悠季
 - 響くかたち 鈴木真琴、吉川瑞希
- 生物**
 - 飼育水槽における浮草の浄化能力について 大箭望、中村友哉、奈良部太優
 - 殺虫剤を使用せずにゴキブリを駆除する方法 高昌太、塚本光一郎、中山幾斗
 - 菌の増殖を防ぐには 清水梨華、荒井健太郎、田口隼平
 - 植物の発芽と紫外線 浦花果、平澤英実、倉持進吾

- 数学**
 - ナンプレにおける数字の入れ方と回転 倉野雅隆
 - 黄金比とイラスト 山田弥生
 - 求根アルゴリズムにおける線形探索法と二分探索法 種田建太郎
 - ブラックジャックの確率 松岡理紗
 - 様々なバスケのプレーと勝敗の関係 青山泰介
 - 様々な数列フィボナッチ数列とリュカ数列 山口翔
- 化学**
 - おいしいスポンジケーキの作り方 蓑田夏希、渡邊史歩
 - 牛乳の膜ができない条件 藤丸かれん
 - 身近なもので燃料電池をつくる 林菜由、仲野龍陽
- 情報**
 - マンカラにおける戦別勝率変化について考える 大出水和也
 - 脳波と音楽の関係性 片桐正真、佐藤優真
 - ミニマックス法の実用性 中山肇
 - C言語を利用した探索ロボットの制御 東濱頼宏、山本陽太郎

東海大学医学部付属東京病院での看護体験が実施

東海大学医学部は、ご存知の通り付属病院(伊勢原)、付属東京病院、付属大磯病院、付属八王子病院と4つの病院を持つ学部です。そして、2018年からは医学部に看護学科が設置され、実践力を備えた看護職者を育成する方針です。また、湘南キャンパスには3年制の医療技術短期大学があり、こちらも医療の世界で活躍する看護師を育成しています。

本校では、進路の方向性がほぼ決定する高校2学年の11月以降に付属東京病院での看護体験を実施しております。この体験を通して看護の仕事を目の当たりにするとともに、将来看護師になりたいという強い思いが芽生えることと思います。

東海大学の推薦制度を利用して、将来看護師を目指す場合には、以下のような成績基準を満たすと同時に、適性審査という大学の指定する試験に合格しないとけません。看護系を希望する高校2学年の生徒は当然のことですが、高校1学年の生徒も看護系を目指す場合には、早期の準備を心がけてください。

【看護系の推薦基準】(東海大学の公表している基準)

①4年制の看護学科

高校2年間の評定平均が7.5以上で、学園基礎学力試験の2、3年の平均順位が全付属生の中で600番程度(もう少し難化していますが、詳しくは校長面接等でお話いたします)。

②3年制の医療技術短期大学

高校2年間の評定平均が7.5以上で、学園基礎学力試験の2、3年の平均順位が全付属生の中で1,000番程度(もう少し難化していますが、詳しくは校長面接等でお話いたします)。

①、②いずれの学科を目指す場合にも、看護師として適性を見るための面接試験(適性審査といって、3学年の6月末に実施される)に合格することが必要です。



11月19日(土)に実施された第1回看護体験に参加した生徒
左から 2年9組 東珠里さん、2年5組 田中あやさん、2年6組 清野遥さん、
2年4組 笠原涼花さん、馬越菜帆さん、2年7組 溝口愛里さん

知と実践の力を育てる 新たなフィールド、誕生。

東海大学では、現代社会の課題にさまざまな角度からアプローチしていくために、文系と理系の両分野にわたる学部・学科の設置、時代の先端を行く個性的な学科の新設など、常に進化を続けています。

本校では、2016年10月24日に全教職員に向けて研修会を実施するとともに、11月以降の学部・学科説明会においては、1、2年生の生徒・保護者を対象に大学の先生方が説明をしてくれています。現在の高校2年生が東海大学へ進学する際には、学部・学科の改組・改編が実施されている可能性が高いと思われます。今回は、その概要を紹介したいと思います。



教員研修会の様子(説明してくださっているのは、堀 真奈美先生)

2018年4月、東海大学は 文化社会学部* / 健康学部* / 医学部看護学科* の 新設を計画しています。



湘南キャンパスに健康学部健康マネジメント学科*を設置予定

人口減少と高齢化が急速に進む日本において、人的資源、公的資源に限られる一方で、保健・医療・福祉に対するニーズは多様化し、多くの問題や課題が生じています。本学科では、こうした課題を解決するために、身体的な問題だけでなく、精神的、社会的、経済的な健康についての多角的な知識と、地域社会や企業と連携協働できるネットワーク力とマネジメント能力を持った人材の育成を目標とします。



湘南キャンパスに文化社会学部*を設置予定

文化社会学部*の目標は、グローバル化、デジタル化が進む世界で、拡大を続ける紛争や格差、環境問題などの解決に貢献できる人材の育成です。「多文化理解の促進」「高度な言語表現力の育成」「メディアの理解・利用・創造」「自立と共生を表現し実現する知識と力」の4つを柱とします。設置予定の学科は、以下の6学科です。

- ①アジア学科* ②ヨーロッパ・アメリカ学科* ③北欧学科*
- ④文芸創作学科* ⑤広報メディア学科* ⑥心理・社会学科*

※これまでは文学部に属していた学科を含めて、上記の6学科が文化社会学部*として設置される予定です。



伊勢原キャンパスに医学部看護学科*を設置予定

20年以上の歴史を持つ看護学科を医学部に設置(設置計画)します。医学部の中で教育を行うことによって基礎的な医学知識の充実・向上を図り、高度な看護の専門知識と技術を修得し、根拠を持った臨床判断のできる看護職の育成を目指します。またこれまでの看護学科の理念を継承し、人間・社会・環境に対する深い理解と、コミュニケーション能力や問題解決力とともに、実践力を備えた看護職者を育てることを目標とします。

(*印の学部学科名は仮称です)

お知らせ

チャレンジ検定!

漢字検定 1月13日(金)

数学検定 1月14日(土)

英語検定 1月21日(土)

行事予定

January 1月

February 2月

- 6日(金) 新春懇親会
- 7日(土) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 8日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑤(中等部)
- 9日(月) **成人の日**
- 10日(火) 校医相談日⑨
- 12日(木) 学年集会③(高2、中2)
- 13日(金) 漢字検定(希望者)
- 14日(土) 数学検定(希望者)
- 16日(月) 高校推薦入学試験願書受付
- 18日(水) 専門医によるカウンセリング⑥
- 19日(木) 生徒による授業評価アンケート④
生徒による学校評価アンケート②
- 20日(金) 中等部入学試験願書受付
(第1回:~1/31、第2回:~2/2、第3回:~2/4)
- 21日(土) 英語検定(3・4時限:中等部)
- 22日(日) **高校推薦入学試験(生徒自宅学習日)**
- 23日(月) 高校推薦入学試験合否発表
- 25日(水) 振替休日(1/22分)
- 28日(土) **卒業試験(~31日:中3)**
特別時程(~31日:高校、中1、中2)
- 31日(火) 特別講座終了(高3)

- 1日(水) **中等部第1回入学試験(生徒自宅学習日)**
Tokyo Sightseeing Tour(中1)
- 2日(木) 中等部第1回入学試験合否発表
- 3日(金) **中等部第2回入学試験(生徒自宅学習日)**
- 4日(土) 中等部第2回入学試験合否発表
- 5日(日) **中等部第3回入学試験(生徒自宅学習日)**
- 6日(月) 中等部第3回入学試験合否発表
答案返却(中3)
- 7日(火) 振替休日(2/5分)
- 8日(水) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 10日(金) **高校一般入学試験(生徒自宅学習日)**
マナー講座(中3)
- 11日(土) **建国記念の日**
高校一般入学試験合否発表
- 13日(月) **海外英語研修(~22日:中3)**
- 14日(火) **スポーツ大会(アリーナ:高1)**
基礎力判定テスト(高2)
特別時程(中1、中2)
- 15日(水) **スポーツ大会(アリーナ:高2)**
基礎力判定テスト(高1)
特別時程(中1、中2)
専門医によるカウンセリング⑥
- 19日(日) 新入生制服採寸・教材販売(高校推薦、中等部)
英語検定(2次:中等部)
- 21日(火) 校医相談日⑩
- 23日(木) 生徒休業日(中3)
- 26日(日) 新入生・保護者登校日(中等部)
新入生制服採寸・教材販売(高校内部、一般)
- 27日(月) 登校日(高3)

編集後記

新たな年がスタートした。「新しい」には、人の心をワクワクさせる力、やる気を起こさせる不思議な力があるように感じる。「新学期」、「新しい靴」、「新しいノート」などなど。一方、人は未知なるものや未経験のものには臆病になり、なるべく受け入れようとせず現状のままであろうとする気持ちがはたらく。何か新しいことを行うには、大きな力が必要である。この「新しい」を力にして一年の区切りの新年に、自分を鼓舞し「挑戦」の一年にしてみたいだろうか。(ほ)